

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-27		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
1	表見返 2	囲み	(上段の2列目「1922年」の写真「スピルカ」「カルピス」) 以下、表見返2の右段「1949年」の写真「カルピス」、13ページ側注の写真	特定の営利企業および商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	定意見 (修正)	
			および図の「1チョコ for 1スマイル」、50ページ側注の写真「Coke」「Coca-Cola」、67ページ囲みの写真「うんこドリル」、135ページ側注の上写真の青丸ロゴマーク、「めんたいパ				
			ーク」、169ページ図の右上、右下「Google」、裏見返4の中央囲み、下段9行目、写真「HairWeGo」、裏見返6の上囲みの左下写真の靴のロゴマーク、裏見返6の下囲みの右写真のカップ				
			のロゴマークも同様。				
2	9	3	1960年代に日本に導入された。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見	
3	11	14 - 15	1972年にクーリング・オフ制度が導入され、1976年には訪問販売法が制定された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記述の内容について、現在も訪問販売法に定められているかのように誤解する。)	3-(3)	定意見 (追加)	
4	11	25	(「補い」のルビ「おぎ」)	誤記である。	3-(2)	調査意見	
5	17	7	(「CtoC」の下の「consumer」)	誤りである。	3-(1)	調査意見	
6	29	11 - 12	(「海やマリンスポーツをする人のスキンケア製品」の「海や」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	定意見 (追加)	
7	33	14	商品を使用して処分する段階である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (購買後行動が記述の内容のみであるかのように誤解する。)	3-(3)	定意見 (追加)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-27		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
8	39	19 - 21	低い欲求である⑤の欲求から順に満たされていき、最後に①の欲求が満たされる	相互に矛盾している。 (39ページ囲み「コラム」の図。)	3-(1)	調査意見	
9	41	側注* 1	人がどれほど広告を詳細に吟味するか…広告受容の仕方を示したモデルである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (精緻化見込みモデルが広告のみに適用されるモデルであるかのように読める。)	3-(3)	調査意見	
10	45	17	(「定量調査」の下の「p.53」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見	
11	46	16 - 18	仮説がもし正しい…事実を調査する。 以下、46ページ囲み「市場調査の手順」の「③仮説検証」の人物の吹き出しの全体も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見	
12	55	15 - 22	(「参考」の「出典の記載ルール」の全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の内容をルールとする根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見	
13	60	16 - 23	餃子2個100円も6個300円も…確認する方法が $\chi$ 二乗検定である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の内容から60ページ21行目「大きな差とは言えないことがわかる」とする理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	
14	73	表	(「実習例 3」の全体) 以下、74ページ表の「実習例 4」の全体、11行目「女性の大学生をターゲットにした」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (72ページ18行目から19行目「高校生向けのお菓子の新製品開発という方針は決まっている。より具体的に高校生を絞り込むため、セグメンテーションを行う。」との関係が分からない。)	3-(3)	定意見 (追加)	
15	92	側注	(「ブランドの想起」の図の「想起集合」の全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (図のイラストがブランドであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	
16	99	27 - 30	全国で最も価格が低い…近いところほど安くなる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見	
17	103	側注	(上図の「¥3,990+税」) 以下、107ページ囲み「希望小売価格の例(ゲーム機メーカーのECサイト)」の「29,980円+税」、145ページ中段	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (消費者に対する価格表示が記述の方法で良いかのように誤解する。)	3-(3)	定意見 (修正)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-27		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
			「消費者プロモーション (その2)」の右図の「¥390+消費税」「¥990+消費税」も同様。				
18	117	3	(「売買」のルビの「はんばい」)	誤記である。	3-(2)	調査意見	
19	144	囲み	(「消費者プロモーション (その1)」の左下「懸賞」の「コーヒーパーカー」の文字「caffee」)	生徒にとって理解し難い表現である。(記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見	
20	146	囲み	(表題「請求ポイントとPOP広告の例」の「請求」)	誤記である。	3-(2)	調査意見	
21	154	側注	(下写真の説明文2行目から4行目「通常の赤いベストの制服ではなくスーツを着て接客する。」)	生徒にとって理解し難い表現である。(「通常の赤いベストの制服」が何を示しているのかが分からない。)	3-(3)	調査意見	
22	156	25	(右段「工業会」のルビ「こうじょうかい」)	誤記である。	3-(2)	調査意見	
23	158	18 - 19	不動産広告では、駅まで「〇〇分」と表示する場合、80mで1分と換算するルールがある。	生徒にとって理解し難い表現である。(説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
24	160	囲み	(「製品ライフサイクル」の図の縦軸の下の「投資額」)	生徒にとって理解し難い表現である。(記述の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	
25	166	側注①	(2行目から3行目「物的環境 (physical evidence)」の「evidence」, 188ページ右段11行目から12行目「物的環境: physical process」の「process」)	生徒にとって理解し難い表現である。(表記が異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	
26	174	側注②	520万÷5.1=103.79...	不正確である。	3-(1)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-27		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
27	176	5 - 6	観光マーケティングとは、ある地域の観光目的地（デスティネーション）としての魅力を向上させる活動である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （観光マーケティングが観光目的地のみを対象としているかのように誤解する。）	3-(3)	調査意見
28	176	19	（「DMO」の英語表記の「Destination Marketing Organization」）	生徒にとって理解し難い表現である。 （176ページ側注③の「デスティネーション・マーケティング（マネジメント）・オーガナイゼーション」の表記と異なり理解し難い。）	3-(3)	調査意見
29	176	24	（左段24行目「DMOの制度は2015年に開始されたが」）	生徒にとって理解し難い表現である。 （記述の意味が分からない。）	3-(3)	調査意見
30	176	側注	（写真の説明文「秋田犬」のルビの「あきたけん」）	生徒にとって理解し難い表現である。 （176ページ側注「秋田犬ツーリズム」の「秋田犬」の英語表記「AKITAINU」と異なり理解し難い。）	3-(3)	調査意見
31	177	グラフ	（「訪日外国人の推移と地域別の内訳」の左の横棒グラフの2020年の値「3,946,972人」）	不正確である。	3-(1)	調査意見
32	177	グラフ	（「訪日外国人の推移と地域別の内訳」の右の円グラフの内側の割合の「70,1%」「12,6%」「13,0%」「4,3%」の「,」）	誤記である。	3-(2)	調査意見
33	179	囲み	（「コラム」の写真の説明文「フレキシタリアン向けの商品」）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （フレキシタリアンのみを対象にしているかのように読める。）	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-28		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	表見返 ②	囲み	(右囲み「C(Check)・A(Act/Action)」の「管理」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (44ページ7行目から9行目「管理とは…活用することをいう」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
2	表見返 ③	囲み	(上写真の紙袋, 下写真の看板のロゴマーク) 以下, 表見返④「ジャム」の写真のロゴマーク, 表見返⑤の左下「1980」の	特定の営利企業および商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	定意見 (修正)
			写真「GAME&WATCH」, 上中央「1983」の写真「FAMILY COMPUTER」, 右上「1989」の写真「Nintendo」 「GAME BOY」, 表見返⑥の右上「2012」の写真「Wii」, 15ページ囲みの写真「THE			
			GINZA」, 98ページ側注の写真のバッグのロゴマークも同様。			
3	表見返 ⑤	囲み	(左下「1980」の「この玩具メーカーにとってはじめてとなる携帯ゲーム機の販売を開始した。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (表見返⑤の右上「1989」の「この玩具メーカーにとってはじめてとなる携帯型ゲーム機の販売を開始した。」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
4	表見返 ⑦	囲み	(「価格政策」の表の「マークアップ法」の「値入率=…×100(%)」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (表見返⑦の囲み「価格政策」の表の「マークアップ法」の説明文「製造原価(仕入原価)…採用している。」の記述との関連が分からない。)	3-(3)	調査意見
5	まえがき	16 - 19	販売, 広告, 商業, 流通, 取引などといった…既存の日本語では一言でいい表せないような意味や内容が含まれているからです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (マーケティングが日本語で表記されたことが無いかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
6	3	側注①	マーケター (marketer) ともいう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべての売り手が「マーケター」というかのように読める。)	3-(3)	調査意見
7	6	側注②	ベネフィットとは…さまざまな満足のことである	生徒にとって理解し難い表現である。 (7ページ側注①は満足を「Satisfaction」と表記しており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見
8	9	囲み	(「わが国の百貨店のはじまり」の10行目から11行目「小さな店(いわゆる大店)」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「小さな店」を「大店」と表記する理由が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-28		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
9	13	側注②	食料品が過剰に生産されたにもかかわらず、余ってしまった廃棄されてしまう問題のこと。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
10	19	囲み	(表の「PSCマーク」の「概要」の「特別特定製品(※)のうち」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「PSCマーク」の対象が「特別特定製品」のみであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
11	20	側注①	店舗に来客を見込める顧客が住んでいる範囲のこと。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (商圏が「住んでいる範囲」のみを対象とするかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
12	24	7	サービスは、家族や友人が提供してくれるのであれば無料であるが 以下、24ページ9行目の下の左囲みの全体も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (24ページ側注②の3行目から6行目では「本書でいうサービスには、「無料」や「おまけ」といった意味は含まれていない。」としており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見
13	25	囲み	(「第一次産業、第二次産業…就業人口構成の変化」のグラフ) 以下、155ページ囲み「法的措置件数等の推移」のグラフも同様。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	調査意見
14	25	囲み	(「街の電気屋さんによるサービスの例」の3行目から5行目「街の電気さんは…引き取りもしてくれる。」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (25ページ囲みの1行目に示す「家庭用電気製品の大量量販店」が記述のことを行っていないかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
15	32	囲み	(「3C分析」の図の左下の「競合他社」)	表記が不統一である。 (32ページ6行目「競合」。)	3-(4)	調査意見
16	40	囲み	(「セグメント別のターゲティング方法」の左下図の表題「単一のセグメントを対象とした場合③」の「③」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「①」「②」が無く記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
17	42	5	(「製品政策」の上の「p.96」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (42ページ囲みの左上の「製品政策」は「95ページ～」としており異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
18	42	側注① ②	(側注①「4Pは1960年頃に…提唱した。」、側注②「マーケティング・ミックスは1950年頃に…提唱した。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (42ページ8行目から9行目「この4つの政策…マーケティング・ミックスという。」としており提唱した時期のつながりが理解し難い。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-28		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
19	42	囲み	(右上「価格政策」の「値引き」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (194ページ10行目で「値引き」をプロモーション政策で扱っており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見	
20	50	3	コンビニ 以下、50ページ囲みの左下図の吹き出しの「コンビニ」も同様。	表記が不統一である。 (31ページ17行目「コンビニエンスストア」。)	3-(4)	調査意見	
21	53	8 - 10	態度とは、消費者が、自分の好き嫌いなどについてしっかりと考えをもっており、まわりの影響を受けないことである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	定意見 (追加)	
22	65	9 - 12	このように自身の購買決定を…考えられる。 以下、65ページ囲み「認知的不協和の例」の全体も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記述の内容が認知的不協和であるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	
23	67	囲み	(「イノベーター理論とキャズム」のグラフの縦軸、横軸)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
24	79	14 - 18	(「(3) 実験法」の全体)	不正確である。	3-(1)	定意見 (追加)	
25	79	囲み	(「各質問法の特徴」の表の脚注「(注1)」の「◎=ちょうどよい」「○=よい」「△=やや問題がある」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (基準が分からず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
26	82	16 - 17	しかし、個人情報保護の観点から、住民基本台帳などの利用は難しくなっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (住民基本台帳について、記述の観点のみであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	
27	87	囲み	(11行目の下の「金融資産保有額の度数分布表」のグラフ) 以下、86ページ「POINT」の2行目「度数分布表(ヒストグラム)」, 87ページ側注②の3行目から4行目「ヒストグラムともいう。」も同様。	誤りである。	3-(1)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-28		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
28	89	3 - 5	さらに表計算ソフトウェアの〔データ〕〔データ分析〕〔回帰分析〕を選択することによって、回帰分析が可能になる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべての表計算ソフトウェアが記述の方法で行うことができるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
29	89	5	回帰分析	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見
30	90	9 - 10	そこで、偏差を2乗して、その平方根を算定する場合がある。これを標準偏差という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	調査意見
31	101	囲み	(「ブランド・エクイティの構成要素」の右上「知覚品質」の「顧客が感じているそのブランドならではの価値のこと。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (144ページ18行目から19行目の「知覚価値」の記述との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
32	103	囲み	(「製品のライフサイクル」の図の「衰退期」の右側の区分)	生徒にとって理解し難い表現である。 (102ページ5行目「製品のライフサイクルは4つの段階に区分され」の記述との関係が分からない。)	3-(3)	調査意見
33	106	5 - 6	以下のような表を作成し…創出する方法である。 以下、106ページ6行目の下の表の全体も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (SCAMPER法の説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見
34	141	囲み	(「一般的な価格の構成要素」のグラフの脚注の「(注)流通業者が存在することにより、費用が安くなる場合もある。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見
35	142	18	(「値入率」の式の「製造原価(仕入原価)」の「製造原価」) 以下、143ページ1行目「製造原価」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (142ページ14行目から17行目の「仕入原価」の記述との関係が分からない。)	3-(3)	調査意見
36	151	囲み	(「需要の価格弾力性を用いた価格設定」の5行目「価格の変化率」の式の「10%」、6行目「需要の変化率」の式の「-20%」)	不正確である。	3-(1)	調査意見
37	180	18 - 20	そのコンビニエンスストアでは…企業のキャラクターをつくりだすことがコード化ということになる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-28		学校 高等学校		教科 商業	種目 マーケティング	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
38	181	囲み	(「コミュニケーション・プロセス」の図の「送り手」と「受け手」の「解読」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
39	190	5 - 7	インターネットが登場したときからインターネット広告はおこなわれていた	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見	
40	193	7 - 8	インプレッションとは、消費者がウェブページでインターネット広告をみたときの印象をいう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (193ページ8行目から10行目では広告の表示回数でインプレッションを測定しており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見	
41	199	側注③	通信販売や訪問販売において	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (特定商取引法が「通信販売」と「訪問販売」のみを対象にしているかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-38		学校 高等学校		教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	14	側注①	固定費と変動費の決定方法についてはp. 251で学ぶ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての生徒が学ぶものであるかのように読める。)	3-(3)	調査意見
2	38	表	(「仕訳帳」の「摘要」欄の(1)と(2)の取引の間)	誤植である。 (取引を区切る線)	3-(2)	調査意見
3	108	グラフ	(「実際操業度 400時間」の「予算配賦額」)	誤記である。 (108ページ囲み「予定配賦額=¥140×400時間=¥56,000」の「予定配賦額」。)	3-(2)	調査意見
4	223	図	(「材料」勘定の貸方「仕掛品 22,330」から「仕掛品」勘定の借方「前月繰越 4,400」の矢印②)	生徒にとって理解し難い表現である。 (223ページ8行目の「②」の仕訳に示す内容と異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-39		学校 高等学校		教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	29	囲み	(「サービス業における原価計算の特徴」の「②サービス業においては材料費ではなく、労務費と経費がおもな原価となるため、発生する原価のほとんどは、間接費であり固定費である。）」	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	定意見 (追加)
			の「労務費と経費がおもな原価となるため、発生する原価のほとんどは、間接費」)			
2	100	囲み	(2行目「固定予算の場合、公式法変動予算のように製造間接費の予算額を変動費と固定費に分けずに、製造間接費のすべてを操業度にかかわらず一定(固定費)と考える。」の「固定費」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (固定予算が固定費であるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
3	150	10	(囲み「組別原価計算の手続」の「① 1原価計算期間の製造原価を」の「製造原価」) 以下、150ページ囲み「組別原価計算	生徒にとって理解し難い表現である。 (152ページ表「組別総合原価計算表」や161ページ表「工程別総合原価計算表」と違う語句を使用している理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
			の手続」の「③ 各組に集計された製造原価に」の「製造原価」、159ページ囲み「工程別総合原価計算の手続」の「① 製造原価を」の「製造原価」、 「④ 各工程に集計された製造原価			
			に」の「製造原価」、 「② 製造原価(材料・労務費・経費)」の「製造原価」も同様。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-40		学校 高等学校		教科 商業		種目 原価計算		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別			
	ページ	行							
1	全体		(図書の全体)	主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう適切な配慮がなされていない。	2-(1)	調査意見			
2	4	12	(「解答解説241ページ」の「241」) 以下、8ページ13行目も同様。	不正確である。	3-(1)	調査意見			
3	6	側注01)	バレンタインの手作りチョコは個別原価計算、市販の板チョコは総合原価計算というイメージです。 以下、6ページ側注02)下6行目「おこ	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文の説明として理解し難い。)	3-(3)	調査意見			
			づかひの使い道をあらかじめ決めておいて、実際に使った金額との差額について分析する、というイメージでしょうか。」も同様。						
4	10	図	(下図の左「賃金」)	表記が不統一である。 (10ページ上図の「労務費」。)	3-(4)	調査意見			
5	13	15 - 16	上記の処理により、販売した製品による売上総利益が¥4,000(=売上¥10,000-売上原価¥6,000)であることが記帳されました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (売上総利益がどこに記帳されたのか理解し難い。)	3-(3)	調査意見			
6	19	4	サービスを提供を営む企業	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見			
7	24	19	(「資料2.の当月の製造原価」の「当月」)	表記が不統一である。 (24ページ8行目「今月」。)	3-(4)	調査意見			
8	27	側注09)	(「6分まで焼いら」の「焼いら」)	脱字である。	3-(2)	調査意見			
9	43	側注02)	(5行目「会社の方針で決まることもあるので、問題文の指示に従うことになります。」の「問題文」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-40		学校 高等学校		教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
10	47	23 - 24	問題の指示に従ってください。 以下、47ページ26行目、27行目「指示がない」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「指示」の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
11	64	図	(「B組製造」勘定の借方の「組直接材料費」「組直接労務費」「組直接経費」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (振り替え元の勘定科目が分からない。)	3-(3)	調査意見
12	67	13	仕掛品勘定 以下、67ページ14行目、16行目「仕掛品勘定」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (この箇所のみ「仕掛品勘定」とする理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
13	71	側注0 6)	(2行目「CASIO」)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	調査意見
14	76	側注0 2)	原価計算部門には原価の集計書という2つの面を持ちます。 以下、78ページ1行目「原価を指図書に集計する方法は原価によって異なり	生徒にとって理解し難い表現である。 (76ページ図「製造指図書」のどこに原価が集計されるのか分からない。)	3-(3)	調査意見
			ます。」、84ページ3行目「指図書に集計されており」も同様。			
15	77	側注0 4)	指図書の番号を示す#は「ナンバー」と読んでください。「No」としている問題もあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
16	78	図	(右の「原価計算表」の全体) 以下、80ページ表「原価計算表」の全体も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (84ページ「例題」の「[資料]」の「原価計算表」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
17	83	図	(「賃金」勘定の「賃金」) 以下、83ページ図の「製造」勘定の借方「賃金」、「製造間接費」勘定の借方「賃金」も同様。	表記が不統一である。 (81ページ20行目「労務費」。)	3-(4)	調査意見
18	88	6	旧指図書	表記が不統一である。 (87ページ21行目の「旧製造指図書」。)	3-(4)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-40		学校 高等学校		教科 商業		種目 原価計算		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別			
	ページ	行							
19	89	7	製造指図書から差し引く。	生徒にとって理解し難い表現である。 (89ページ15行目「#101の製造原価から差し引いた。」としており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見			
20	100	26	棚卸減耗損	表記が不統一である。 (100ページ25行目「棚卸減耗費」)	3-(4)	調査意見			
21	102	23 - 24	退職給付費用とは、工場の従業員の退職後に支払われる退職金の見積り額をいいます。	不正確である。	3-(1)	調査意見			
22	110	29	(「(貸)賃金」の「賃金」)	表記が不統一である。 (110ページ25行目「給料」。)	3-(4)	調査意見			
23	118	側注06)	従業員賞与の処理に似ていますね。	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文に対応する側注番号がない。)	3-(3)	調査意見			
24	119	表	(「経費測定表」の「合計」の「33,500」)	不正確である。	3-(1)	調査意見			
25	121	側注01)	すでに学習した単純総合原価計算では、製造間接費勘定を設けないことがあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (30ページから39ページの単純総合原価計算では製造間接費勘定を設けておらず、記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見			
26	123	表	(「製造間接費配賦表」の「#103」の「配賦額」の「90,000」)	不正確である。	3-(1)	調査意見			
27	154	図	(「家具製造業の工場の鳥瞰図」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (鳥瞰図について誤解する。)	3-(3)	調査意見			
28	158	表	(29行目, 30行目「専有面積」)	表記が不統一である。 (158ページ18行目「占有面積」。)	3-(4)	調査意見			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-40		学校 高等学校		教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
29	161	側注05)	この分野での本試験問題では割り切れない問題は出題されていません。割り切れないときは自分の計算の再チェックを！	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
30	169	図	(「組立部門費」勘定の貸方「製造(#100)」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (製造指図書番号#100に対するものであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
31	170	3	製造間接費配賦差異勘定 以下、269ページ2行目「製造間接費配賦差異勘定」、4行目「製造間接費配賦差異勘定」、15行目「製造間接費配	誤りである。 (168ページ3行目から5行目に照らして。)	3-(1)	調査意見
			賦差異勘定」も同様。			
32	192	側注01)	問題文に指示がない限り、金額にプラス、マイナスの符号(「+」や「△」)は付けないで解答します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
33	218	側注01)	生産販売量	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
34	238	16 - 17	工場でも工場元帳だけでは取引が記帳しないので	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
35	249	下図	(「製造」勘定の貸方「副産」)	脱字である。	3-(2)	調査意見
36	259	4 - 5	旧製造指図書に集計された原価から仕損品の評価額を差し引いた額が仕損費とします。	生徒にとって理解し難い表現である。 (88ページ5行目から8行目の記述の内容と異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
37	268	9	¥104,000 以下、268ページ10行目「¥104,000」も同様。	不正確である。	3-(1)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-41		学校 高等学校		教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	全体		(図書の全体)	主體的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう適切な配慮がなされていない。	2-(1)	調査意見
2	目次6	囲み	(「発展編は、学習指導要領に示されていない、「発展的な学習内容」となります。より幅広い知識を身につけるため、必要に応じて学習するものです。」の「発展編」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発展編」との記述はなく理解し難い。)	3-(3)	調査意見
3	表見返 1	図	(「原価計算表」の「完成日：令和〇年6月15日」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (表見返2の「完成品原価報告書」の「完成日」の日付と異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
4	7	囲み	(「第1回」「原価と原価計算」の「標準時間」欄と「クラス・番号」欄と「氏名」欄と「得点」欄) 以下、17ページ、18ページ、34ページ、55ページ等も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
5	19	はじめに	2行目「損益振替のときに学習した振替記入がよく出てきますので、」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が「損益振替」について学習済みであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
6	21	図	(「完成した製品の原価を集計する勘定科目」の「材料倉庫」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (完成した製品が「材料倉庫」に入庫される理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
7	147	はじめに	(7行目「大きさの違う製品を同時に製造する際につかう等級別原価計算」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (大きさのみであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
8	147	はじめに	(8行目「2種類の製品を同じ工場内で製造する際につかう組別総合原価計算」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (2種類のみであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
9	213	側注上	副産物は、主製品のおまけとして生じるものです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (副産物を「おまけ」とする理由が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。





## 検 定 意 見 書

受理番号 103-44		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9	9	空の産業革命に向けたロードマップでは、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「空の産業革命」「ロードマップ」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
2	11	17	オブジェクト型言語 23行 オブジェクト指向型言語 24行 オブジェクト指向型言語	表記が不統一である。	3-(4)	
3	13	14	Computer Aided Software Engine	誤記である。 (「Engine」)	3-(2)	
4	15	8 - 9	コーディング②とは、流れ図をもとにコード化を行うことである。 側注② コーディングは、流れ図を見ながら直接入力する場合もある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (流れ図を「もとに」することと「見ながら直接入力する場合」の相違について理解し難い。)	3-(3)	
5	16	16	2 センサ技術の進歩はp.9でふれました。	不正確である。 (9ページではセンサ技術がどのように進歩したか記述されていない。)	3-(1)	
6	20	4	保守① 側注① みつかった問題点を修正する作業のこと。	不正確である。 (89ページウォータフォールモデルにおける「保守・管理」に照らしてシステム運用段階におけるものか、アルゴリズムのデバッグのことであるのか曖昧である。)	3-(1)	
7	22	下表	float -1.40239846 1.40239846	不正確である。 (「1.40239846」)	3-(1)	
8	62	上表	[log <sub>2</sub> n] (2か所)	生徒にとって理解し難い表現である。 ([ ]の記号の意味)	3-(3)	
9	69	左図	流れ図 pointT[0] pointT(i)	表記が不統一である。	3-(4)	
10	81	9	③point[i]	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-44		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	93	側注①	・定型業務の学習能力	生徒にとって理解し難い表現である。 (「学習能力」の意味が理解し難い。)	3-(3)	
12	99	側注③	テストのとき, …, すべての通信路を 通っていること。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「通信路」がどのようなものであるか説明がなく 理解し難い。)	3-(3)	
13	102	側注①	⑤運用プロセス 5. 利用者の教育	誤記である。 (「教育」)	3-(2)	
14	104	14	Managment	脱字である。	3-(2)	
15	110	側注	豆知識 クラス JDK	生徒にとって理解し難い表現である。 (JDKについて説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
16	124	中段左	■確認画面■ 会員番号: (6か所)	不正確である。 (「会員番号」以外のデータにも同じ見出しがつい ている。)	3-(1)	
17	127	側注②	31行目のファイル出力のクラス…	不正確である。 (31行目ではない。)	3-(1)	
18	146	中図	会員管理メニュー	生徒にとって理解し難い表現である。 (2行「売上管理メニューの作成」に照らして理解し 難い。)	3-(3)	
19	148	中囲み	ArrayList<>(); 2か所	生徒にとって理解し難い表現である。 (「<>」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
20	171	中囲み	5行 “南瓜のよみはかぼちゃ” 上囲み 5行 “西瓜のよみはすいか”	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-44		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	178	下表	成熟性	誤記である。	3-(2)	
22	186	中囲み	開始タグ	誤記である。	3-(2)	
23	186	6	開始タグと終了タグにはつねに同じタグがはいる。	不正確である。 (同じタグ)	3-(1)	
24	187	下囲み	4行 "utf-8" 188ページ 上囲み 4 …charset属性でページに使用する文字コードを指定する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (249ページにはutf-8についての説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
			側注② →p.249 文字コード			
25	191	側注①	border="●"には数値を記入する。 … 1→境界線表示あり。	不正確である。 (境界線表示の太さは1だけではない。)	3-(1)	
26	193	左下囲み	□VB 194ページ VB (2か所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
27	195	図	《完成例》下段 Traning 198ページ (2か所) 200ページ (3か所)	誤記である。	3-(2)	
28	196	中囲み	hight 13行 hight 197ページ 中囲み (3か所) 198ページ 下囲み (3か所)	誤記である。	3-(2)	
29	196	側注	→第5章 p.244 画像用ファイル形式	不正確である。 (244ページにない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-44		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	200	中図	中心軸メソッド 195ページ《完成例》 中心軸トレーニング	表記が不統一である。	3-(4)	
31	204	上図	rel="stylesheet" ~ herf…	誤記である。 (「stylesheet」「herf」)	3-(2)	
32	209	側注①	XAMPP	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
33	212	中囲み	<h1>画面に現在の時刻を表示する </h2>	不正確である。 (HTMLタグ)	3-(1)	
34	215	4	クエリパラメータが付かない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「クエリパラメータ」)	3-(3)	
35	218	上囲み	右下 utf8_general_ci 左下 utf8_unicode_ci	表記が不統一である。	3-(4)	
36	222	上囲み	14 … <input type="mail" … 223ページ上表 14 <input type="mail">	不正確である。 (「mail」)	3-(1)	
37	224	囲み	39 <! -- フォームの送信ボタン… 228ページ 囲み 47 <! -- 連想配列を…	誤りである。 (PHPの文法によっていない。)	3-(1)	
38	227	上表	24 … anser …	誤記である。	3-(2)	
39	233	囲み	25 date 232ページ 囲み 25 day	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-44		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	234	中図	Microsoft Excel (3か所) 235ページ Microsoft Excel (2か所) 234ページ側注① ActiveX	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
41	240	側注図	0のときは変化なし	生徒にとって理解し難い図である。 (どのような2進数表現になるのか理解し難い。)	3-(3)	
42	244	15 - 16	②桁落ち 絶対値がほぼ等しい数値の差を…	不正確である。 (「絶対値」)	3-(1)	
43	245	18	XOR 19行 XOR回路	表記が不統一である。	3-(4)	
44	247	9	ポイント型	誤記である。	3-(2)	
45	254	5	0nry	誤記である。	3-(2)	
46	263	下表	RAID5 誤り訂正符号も分類させて	誤記である。 (「分類」)	3-(2)	
47	266	中図	タスク待ち行列 (TBC)	誤記である。 (「TBC」)	3-(2)	
48	268	下表	Prolog 述語論理を基礎とした論理式 …	生徒にとって理解し難い表現である。 (「述語論理」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
49	268	下表	VB 287ページ さくいん右段下 VB……268	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-44		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
50	269	側注②	情報資産 22行 情報資産台帳②	表記が不統一である。	3-(4)	
51	284	下表	Dim 変数名 As 型名 型名 変数名 ;	不正確である。 (変数宣言の文法)	3-(1)	
52	286	中段右	スキャナ 257ページ下表 イメージスキャナ	表記が不統一である。	3-(4)	
53	286	右段	デジタル署名 274ページ10～11行 デジタル署名 (2か所)	表記が不統一である。	3-(4)	
54	287	中段左	マトリクス型組織 107ページ19行 マトリックス型組織	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-45		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表紙		VBA 裏表紙 VBA	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	3	右段	もくじ 4   情報システムの開発	不正確である。 (174ページ「6 売上分析」がない。)	3-(1)	
3	9	9	空の産業革命に向けたロードマップでは、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「空の産業革命」「ロードマップ」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
4	11	17	オブジェクト型言語 23行 オブジェクト指向型言語 24行 オブジェクト指向型言語	表記が不統一である。	3-(4)	
5	13	14	Computer Aided Software Engine	誤記である。 (「Engine」)	3-(2)	
6	15	8 - 9	コーディング②とは、流れ図をもとにコード化を行うことである。 側注② コーディングは、流れ図を見ながら直接入力する場合もある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (流れ図を「もとに」することと「見ながら直接入力する場合」の相違について理解し難い。)	3-(3)	
7	16	16	2 センサ技術の進歩はp.9でふれました。	不正確である。 (9ページではセンサ技術がどのように進歩したか記述されていない。)	3-(1)	
8	20	下図	Visual Basic (3か所) VBA	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
9	22	4	保守① 側注① みつけた問題点を修正する作業のこと。	不正確である。 (91ページのウォータフォールモデルにおける「保守・管理」に照らしてシステム運用段階におけるものか、アルゴリズムのデバッグのことであるのか曖昧である。)	3-(1)	
10	25	側注③	MsgBox (“文字列”)	不正確である。 (関数の形式)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-45		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	34	上右表	論理演算子 And Or Not 優先順位 高   低	誤りである。 (「優先順位」の順序)	3-(1)	
12	39	図	左段 cells(i,1) cells(i,2) 右段 Cells(i,1)	表記が不統一である。	3-(4)	
			Cells(i,2)			
13	50	右表	トレース表 PointT(i, j) 左囲み pointT(i, j)	表記が不統一である。	3-(4)	
14	58	側注	《流れ図》 imemberT(i) を表示	誤記である。	3-(2)	
15	62	上表	[log <sub>2</sub> n] (2か所)	生徒にとって理解し難い表現である。 ([ ]の記号の意味)	3-(3)	
16	82	8	③point(i) 11行 point(j)	脱字である。	3-(2)	
17	95	側注①	・定型業務の学習能力	生徒にとって理解し難い表現である。 (「学習能力」の意味が理解し難い。)	3-(3)	
18	98	上囲み	ソースプログラムの例 (全体)	生徒にとって理解し難い例である。 (JAVAについて説明なく用いており理解し難い。)	3-(3)	
19	101	側注③	テストのとき、…、すべての通信路を 通っていること。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「通信路」がどのようなものであるか説明がなく 理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-45		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	104	側注①	⑤運用プロセス 5. 利用者の教育	誤記である。 （「数育」）	3-(2)	
21	106	14	Managment	脱字である。	3-(2)	
22	111	側注	→p. 105 WBS	不正確である。 （105ページにない。）	3-(1)	
23	117	中囲み	13 … "sales" … 20 … Sales1.csv … Sales3.csv	表記が不統一である。	3-(4)	
24	141	中囲み 右	fmStyleDropDownCombo	誤記である。	3-(2)	
25	178	下表	成熟性	誤記である	3-(2)	
26	186	中囲み	開始タグ	誤記である。	3-(2)	
27	186	6	開始タグと終了タグにはつねに同じタグがはいる。	不正確である。 （「同じタグ」）	3-(1)	
28	187	下囲み	4行 "utf-8" 188ページ 上囲み 4 …charset属性でページに使用する 文字コードを指定する。	生徒にとって理解し難い表現である。 （249ページにはutf-8についての説明がなく理解し 難い。）	3-(3)	
			側注② →p. 249 文字コード			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-45		学校 高等学校		教科 商業	種目 フォトプログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	191	側注①	border="●"には数値を記入する。 … 1→境界線表示あり。	不正確である。 (境界線表示の太さは1だけではない。)	3-(1)	
30	195	図	《完成例》下段 Traning 198ページ (2か所) 200ページ (3か所)	誤記である。	3-(2)	
31	196	側注	→第5章 p. 244 画像用ファイル形式	不正確である。 (244ページにない。)	3-(1)	
32	196	中囲み	hight 13行 hight 197ページ 中囲み (3か所) 198ページ 下囲み (3か所)	誤記である。	3-(2)	
33	200	中図	中心軸メソッド 195ページ 《完成例》 中心軸トレーニング	表記が不統一である。	3-(4)	
34	204	上図	rel="styeshet" ~ herf…	誤記である。 (「styeshet」「herf」)	3-(2)	
35	209	側注①	XAMPP	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
36	212	中囲み	<h1>画面に現在の時刻を表示する </h2>	不正確である。 (HTMLタグ)	3-(1)	
37	215	4	クエリパラメータが付かない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「クエリパラメータ」)	3-(3)	
38	218	上囲み	右下 utf8_general_ci 左下 utf8_unicode_ci	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-45		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
39	222	上囲み	14 … <input type="mail" … 223ページ上表 14 <input type="mail">	不正確である。 (「mail」)	3-(1)	
40	224	囲み	39 <! -- フォームの送信ボタン… 228ページ 囲み 47 <! -- 連想配列を…	誤りである。 (PHPの文法によっていない。)	3-(1)	
41	227	上表	24 … anser …	誤記である。	3-(2)	
42	233	囲み	25 date 232ページ 囲み 25 day	表記が不統一である。	3-(4)	
43	240	側注図	0のときは変化なし	生徒が誤解するおそれのある図である。 (どのような2進数表現になるのか理解し難い。)	3-(3)	
44	244	15 - 16	②桁落ち 絶対値がほぼ等しい数値の差を…	不正確である。 (「絶対値」)	3-(1)	
45	245	18	XOR 19行 XOR回路	表記が不統一である。	3-(4)	
46	247	9	ポイント型	誤記である。	3-(2)	
47	254	5	Onry	誤記である。	3-(2)	
48	263	下表	RAID5 誤り訂正符号も分類させて	誤記である。 (「分類」)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-45		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
49	266	中図	タスク待ち行列 (TBC)	誤記である。 (「TBC」)	3-(2)	
50	268	下表	Prolog 述語論理を基礎とした論理式 …	生徒にとって理解し難い表現である。 (「述語論理」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
51	269	側注②	情報資産 22行 情報資産台帳②	表記が不統一である。	3-(4)	
52	284	下表	Dim 変数名 As 型名 型名 変数名 ;	不正確である。 (変数宣言の文法)	3-(1)	
53	287	左段中	不正アクセス 二分岐 浮動小数点数	不正確である。 (「二分岐」の並び順)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-46		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	10	7	(3) ネットワーク経由で提供されるソフトウェアやコンピュータ資源などのこと。	生徒にとって理解し難い表現である。 (複数の用語があてはまる。)	3-(3)	
2	22	中囲み	例 21_{(10)}を16進数に変換する。 26÷16=...	相互に矛盾している。 (割られる数)	3-(1)	
3	24	3 - 4	2の補数表現は、あらわしたい数の絶対値を2の補数で表現したもので、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「2の補数表現」の定義に「2の補数で表現」を用いている。)	3-(3)	
4	27	下表	ASCIIコード表 5行0列 ENG	誤記である。	3-(2)	
5	36 - 37	図中	MIL記号 (4か所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ANSI/IEEEの規格に照らして理解し難い。)	3-(3)	
6	46	13 - 17	コンパイラは、…機械語に翻訳する言語プロセッサである。ソースコードをコンパイルするとオブジェクトコードになる。コンパイルされたオブジェクトコードは、…と関連付けられ、機械	生徒にとって理解し難い表現である。 (コンパイラが生成するものは、機械語か、オブジェクトコードか。)	3-(3)	
			語になる。			
7	48	6 - 7	拡張子は、ファイルの種類をあらわす半角2～4文字の文字列であり、	誤りである。 (それ以外にも存在する。)	3-(1)	
8	94	下囲み	プログラム7行 購入数を入力してください (以下 91ページ下 入力例 数量を入力してください)	表記が不統一である。	3-(4)	
9	96	上囲み	入力例 出力例	生徒にとって理解し難い図である。 (「売上金額」、「合計金額」、「利用者数」、「平均金額」の関係が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-46		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	118	下囲み	<p>■1から10までの和を変数Keiに求める処理 右列</p> <p>…</p> <pre>For i=1 To 10 Step 1   Kei = Kei + i</pre>	誤りである。 (「n」)	3-(1)	
			Next n			
11	124	中囲み	<p>■入力データ 山口 4</p> <p>■出力データ 山口 10000</p>	相互に矛盾している。	3-(1)	
12	126	上囲み	流れ図	不正確である。 (プログラム13行にある処理が、流れ図にない。)	3-(1)	
13	132	囲み下	出力データ 最高：300 Fちゃん赤 最低：200 Tのつばさ黒	誤りである。 (「300」, 「200」)	3-(1)	
14	135	2 - 4	最小値を求めるには、…、最小値となりえない値を初期値とする。…、処理条件に「売上数は1,000個未満」とあるので、初期値は999とする。	不正確である。 (最小値が999となることがある。)	3-(1)	
15	137	側注	Label1.Caption = … & Str(Kin) & …	不正確である。 (「Str(Kin)」)	3-(1)	
16	138	中囲み	<p>・…、商品名ごとの販売数をLabel1に表示する。</p> <p>・Label2に売上数が最高の商品名とその売上数および売上数が最低の商品とその売上数を表示する。</p>	相互に矛盾している。 (処理条件、画面設計及び出力例の対応)	3-(1)	
			(以下 同ページ下 画面設計 139ページ上 出力例)			
17	148	上囲み	流れ図 Label2にUmei (Soe)を表示	不正確である。 (プログラム26行と異なる。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-46		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
18	168	15 - 17	4回目の比較では、～を満たすので、添字が4の要素で探索が終了となり、	誤りである。 （「添字が4の要素」）	3-(1)	
19	175	3	③下限値を上限値の合計を2で割った	誤記である。	3-(2)	
20	175	7 - 8	⑤中央の要素よりも探したい商品番号が小さい場合は、上限値を中央+1の値に更新する。 ⑥中央の要素よりも探したい商品番号が大きい場合は、下限値を中央-1の値	誤りである。 （「中央+1」, 「中央-1」）	3-(1)	
			に更新する。			
21	193	側注	①比較元であるUsu(i)の値より比較相手であるUsu(j)の値が大きいかな… ②比較相手の順位に1加算 ③比較元であるUsu(i)の値より比較相手であるUsu(j)の値が小さいかな…	相互に矛盾している。 （「比較元」, 「比較相手」）	3-(1)	
			④比較元の順位に1加算 （以下 流れ図①～④）			
22	207	下囲み	④Suu(3)に、…を格納する Suu(2)とSuu(3)の比較	誤りである。 （「Suu(2)とSuu(3)」）	3-(1)	
23	213	側注1	変数iの値は、0から1ずつ増やす。	不正確である。 （214ページ プログラム15行と異なる。）	3-(1)	
24	213	側注2	なお、…、変数iを減じるのは0までとなる。	不正確である。 （流れ図の②と異なる。）	3-(1)	
25	265	囲み中	プログラム58-62行 For M = N + 1 To Cnt If Work(Max, 3) < Work(m, 3) Then Max = M End If	表記が不統一である。 （「M」と「m」）	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-46		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			Next m			
26	284	下囲み	<p>■複合代入演算子の使用例 記述例 計算結果 Kotae+=2 9 Kotae-=2 5 (以下 285ページ上 ■インクリメン</p>	生徒にとって理解し難い表現である。 (Kotaeの初期値が未定義である。)	3-(3)	
			<p>ト演算子・デクリメント演算子 記述例 計算結果 Kotae++ 8 Kotae-- 6)</p>			
27	288	中囲み	構文 for (…;終了条件;…) {	誤りである。 (「終了条件」)	3-(1)	
28	289	4	do文とwhile文を利用する。	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-33		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
1	17	5	(「連結財務諸表」の上の「第23章, 発展編」の「発展編」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの章を示しているのか分からない。)	3-(3)	調査意見	
2	173	5	(「p.172総勘定元帳残高の繰越利益剰余金」の「p.172」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (172ページに「繰越利益剰余金」の記述が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
3	248	13	時価の把握は不可能である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
4	裏見返 5	左段	(「流動資産」の4行目「電子記録債務」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (裏見返5の中段「流動負債」の2行目「電子記録債務」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-34		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	表見返 ⑨	囲み	(左年表「1950年(昭和25)」の「財務諸表等規則」(略称)制定)	生徒にとって理解し難い表現である。 (現在も効力があるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
2	6	囲み	発展編は、学習指導要領に示されていない内容(いわゆる「発展的な学習内容」)であり、すべての生徒が一律に学習するものではない。	脱字である。 (閉じ括弧がない。)	3-(2)	調査意見
3	14	図	(「継続企業」の図の「継続的に営まれる企業の経済活動」の「経済活動」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (14ページ17行目「経営活動」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
4	85	表	(「意匠権」の「法律上の有効期間」の「20年」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見
5	176	3	(「子会社株式評価損」の上の「p. 91」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (91ページに「子会社株式評価損」の記述はなく理解し難い。)	3-(3)	調査意見
6	255	4 - 6	S社の資本は資本金¥600利益剰余金¥100であり、諸資産の時価は¥1,150, 諸負債の時価は¥450であった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (240ページ側注①の内容と違い理解し難い。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-35		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
1	45	表	(「貸借対照表」の「3. 電子記録債権」の下「貸倒引当金」の「3,861,000」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	
2	62	1	時価を把握することがきわめて困難と認められる 以下、62ページ側注①「時価を把握することはきわめて困難となる。」、63	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
			ページ例12「時価を把握することがきわめて困難と認められる」、65ページ側注②「時価の算定がきわめて困難と認められる」、70ページ「(2)」の「時価を把握することはきわめて困難				
			と認められる」も同様。				
3	98	囲み	(グラフの全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (グラフの意味が分からない。)	3-(3)	調査意見	
4	139	囲み	(「長期借入金」の説明「不動産などを担保に銀行などから借り入れる、」の「担保に」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (これのみと誤解する。)	3-(3)	定意見 (追加)	
5	140 - 141		(「研究」の全体) 以下、57ページ側注①、191ページ上図貸借対照表も同様。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	調査意見	
6	146	囲み	(「例18」の「c. 法人税、住民税及び事業税額 ¥840,000」) 以下、147ページの「決算整理仕訳」の「c」の全体も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (未習の内容であるため。)	3-(3)	調査意見	
7	168	図	(「貸借対照表」の「純資産」「株主資本」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (270ページ側注③、281ページ側注①の記述との関係が整理されておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
8	197	6 - 9	(「2 売上割引」の全体) 以下、197ページ囲みの「例2」の全体、198ページ「Point」の「売上割引」「営業外費用とする。」、251ページ	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-35		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
			「営業外費用の種類」の表の「売上割引」, 257ページ囲みの「例5」の「元帳残高」の7行目「売上割引」 「6,000」, 261ページ囲みの「練習問題」の10行目「売上割引」 「200,000」も同				
			様。				
9	224	囲み	(「2」の「(3)」の「A社に対する買掛金支払いのために」の「A社」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「2」で「一連の外貨建取引」としており理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
10	244	側注②	result of operation	生徒にとって理解し難い表現である。 (3ページ側注②「financial performance」との関係が分からず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
11	294 - 295	12 - 1	この時点では連結財務諸表のみを作成する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (289ページ囲みの「連結財務諸表の種類」に示す全てを作成するかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	
12	305	側注②	連結株主資本等変動計算書の表示科目である「利益剰余金期首残高」を使用する場合もある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (304ページ, 309ページ, 310ページ, 313ページ, 315ページの連結株主資本等変動計算書の表示科目と違い理解し難い。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-36		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	全体		(図書全体の)	主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう適切な配慮がなされていない。	2-(1)	調査意見
2	3	図	(「財務会計」の「企業外部の人々」の「投資者」) 以下、29ページ図の「投資者」も同様。	表記が不統一である。 (3ページ5行目「投資家」。)	3-(4)	調査意見
3	5	側注04)	(2行目「ヒトなど貨幣的に評価できないものは簿記上の取引とされないこととなります。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ヒトと貨幣的評価の関係が理解し難い。)	3-(3)	調査意見
4	14	31	(「工事契約に関する会計基準」の「Chapter3で学習」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (Chapter3に「工事契約に関する会計基準」の記述はなく理解し難い。)	3-(3)	調査意見
5	17	側注01)	連結財務諸表については、「財務会計II」で学習します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (271ページから275ページに連結財務諸表の記述があり理解し難い。)	3-(3)	調査意見
6	24	側注04)	これまでの「実現」という考え方と大きく変わるものではありませんが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見
7	61 - 62		(「Section2」の「割戻しの処理」の全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記述の内容のみが「割戻しの処理」であるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
8	65 - 72		(「Section4」の「特殊商品売買」の全体)	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	調査意見
9	91	図	(会話「1万円で売るヨ」と「1万ドルで買いマ〜ス」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ヨ」や「マ〜ス」をカタカナで書く理由が分からない。)	3-(3)	定意見(追加)
10	111 - 112		(「Section4 売上割引・仕入割引」の全体) 以下、112ページ囲み「割引きは仕入や売上から引かない」の全体も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「売上割引」に関する記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-36		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
11	176	側注0 2)	取得の対価として株式を発行する取引(合併)はChapter10Section6で学習します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「Chapter10Section6」がなく理解し難い。)	3-(3)	調査意見
12	203	側注0 1)上	純資産とは資産と負債の差額をいい、自己資本とも呼ばれます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (203ページ「純資産の分類」の図、258ページ側注01「自己資本(貸借対照表の株主資本と評価・換算差額等)」の記述と整理がされておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見
13	213	5 - 15	(「例4-2」の全体)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	調査意見
14	213	5 - 15	(「例4-2」の全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (学習しておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見
15	258	12	(式の後ろの顔マーク) 以下、258ページ13行目式の後ろの顔マーク、14行目式の後ろの顔マーク、15行目式の後ろの顔マーク、260ページ9行目式の後ろの顔マーク、10行目式の後ろの顔マーク、11行目式の後ろの顔マーク、12行目式の後ろの顔マーク、15行目式の後ろの顔マーク等も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
16	258	21	総資本経常利益率	表記が不統一である。 (258ページ12行目「総資本経常利益率(%)」。)	3-(4)	調査意見
17	261	1	(1) 売上総利益率: $\text{¥}91,200/\text{¥}228,000 \times 100 = 40.0\%$ 以下、261ページ2行目「(2) 売上高営業利益率: $\text{¥}34,200/\text{¥}228,000 \times 100 =$	不正確である。	3-(1)	調査意見
			15.0%」, 265ページ17行目「流動比率: $\text{¥}52,500/\text{¥}25,000 \times 100 = 210.0\%$ 」, 18行目「当座比率: $\text{¥}20,000/\text{¥}25,000 \times 100 = 80.0\%$ 」, 270ページ8行目「売上高成長率: $(\text{¥}10,900 - \text{¥}10,000)/\text{¥}10,000$			
			$\times 100 = 9.0\%$ 」等も同様。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-36		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
18	276 - 287		(「企業会計原則」の全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「企業会計原則」)	3-(3)	定意見 (追加)	
19	280	左段 8 行目	代金回収上の危険が高い	生徒にとって理解し難い表現である。 (企業会計原則の記述と異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-37		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	全体		(図書の全体)	主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう適切な配慮がなされていない。	2-(1)	調査意見
2	目次6	囲み	(「発展編は、学習指導要領に示されていない、「発展的な学習内容」となります。より幅広い知識を身につけるため、必要に応じて学習するものです。」の「発展編」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発展編」との記述はなく理解し難い。)	3-(3)	調査意見
3	表見返 3	囲み	(「A社」の下の「B社は、C社の40%の株式を保有」の「B社」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
4	2	8 - 10	株式会社とは「よい商品やアイデアはあるが、お金がない。もうかつたら分け前をあげるので、だれかお金を出して」といって出資者を募集して、資金を調達するという形態の企業です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	定意見 (追加)
5	7	囲み	(「ミニテスト」の「第1回」「企業会計と会計公準」の「標準時間」欄と「クラス・番号」欄と「氏名」欄と「得点」欄)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
			以下、18ページ、32ページ、36ページ、47ページ等の「ミニテスト」も同様。			
6	10	表	(「金融商品取引法会計」の「附属明細表…財務諸表の内容を補足する書類」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (財務諸表に含まれないかのように読める。)	3-(3)	調査意見
7	59	囲み	(下のイラスト、吹き出しの「でんさい」)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (商標登録有)	2-(7)	調査意見
8	183	図	(「新株予約権者」の図の下「株式をもらえる権利」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (株式をもらえると誤解する。)	3-(3)	定意見 (追加)
9	208	7 - 8	損益計算書は、企業の経営成績をより詳細に表示するために、収益・費用の発生源別に、(エ)、(オ)、(カ)の各区分に分けて表示します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (敬体で記述する理由が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-37		学校 高等学校		教科 商業	種目 財務会計 I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
10	221		(「3 一定期間にわたって工事収益を計上する場合 発展学習」の全体)	学習指導要領に示す内容と明確に区別されていない。	2-(17)	調査意見	
11	230	囲み	(上の吹き出し「御社のバッグ、素晴らしいデス! 100ドルで売ってクダサイ」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「デス」や「クダサイ」をカタカナで書く理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	
12	246	表	(「減算調整項目」の「損金算入」の「貸倒損失認定損」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
13	251	囲み	(左右の表題「税効果会計の適用がない場合」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (どちらが「税効果会計の適用がない場合」なのかが分からない。)	3-(3)	調査意見	
14	261	側注	(上の「参照法規」の「企業会計原則(貸) -B」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見	
15	276	囲み	(下囲みの貸借対照表と損益計算書のセリフ「照れるなあ」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	定意見 (追加)	
16	282	11	自己資本(純資産) 以下、283ページ3つの図「貸借対照表」貸方「純資産(自己資本)」, 284ページ図「貸借対照表」貸方「純	生徒にとって理解し難い表現である。 (150ページ「貸借対照表」の「純資産」の記述と整理がされておらず理解し難い。)	3-(3)	定意見 (追加)	
			資産(自己資本)」も同様。				
17	285	囲み	流動比率 $\text{¥1,190,000}/500,000 \times 100 = 238.0\%$ 以下、285ページ「当座比率 $\text{¥790,000}/500,000 \times 100 = 158.0\%$ 」	不正確である。	3-(1)	調査意見	
			、「自己資本比率 $\text{¥1,500,000}/2,500,000 \times 100 = 60.0\%$ 」, 「負債比率 $\text{¥1,000,000}/1,500,000 \times 100 = 66.7\%$ 」, 「固定比率				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-29		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	表見返 ①	3	(「顧客ニーズの移り」の「移」のルビ「う」)	誤記である。	3-(2)	調査意見
2	13	囲み	(「ニーズとウォンツ」の右「ウォンツ」のイラスト)	生徒にとって理解し難い表現である。 (13ページ13行目から16行目ではウォンツを「食べたい」としており食べている理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
3	17	側注	(「E社の商品ラインとブランドの例」の図の右下の「ブランド」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (17ページ囲み「事例」の26行目から29行目「それぞれの商品ラインのもとには…商品アイテムが用意されている。」の記述との関係が分からない。)	3-(3)	調査意見
4	38	囲み	(「事例」の写真のカップのロゴマーク) 以下、115ページ側注の写真のロゴマーク、126ページ写真の左下「そうだ	特定の営利企業および商品等の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	定意見 (修正)
			京都、行こう。」、128ページ左下、129ページ左上、右上、右中央、右下の写真の「武士米」、134ページ側注のキャラクターの全体、137ページ27行目、29行目、写真の説明文の「謎の			
			魚」、写真のキャラクターの全体も同様。			
5	44	囲み	(「STPの流れ」の「ポジショニング(P)」のイラスト、吹き出しの全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (47ページ2行目から4行目のポジショニングの記述との関連が分からない。)	3-(3)	調査意見
6	50	側注②	(4行目から5行目「一つ屋根の下に暮らす世帯ごとに」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国勢調査の世帯の定義が記述の内容であるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
7	53	側注③	(11行目から13行目「間隔尺度」の「(例) 1. まったくそう思わない～5. とてもそう思う」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の例を間隔尺度で扱う理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
8	55	14	脳波を測るfMRI	生徒にとって理解し難い表現である。 (55ページ側注②では「血流の変化などを画像化する」としており違いが分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-29		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
9	85	囲み	(「損益分岐点分析」のグラフの青色の線と赤色の線)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見
10	92	14 - 16	包装は中央に切れ込みがある袋を採用し、切れ込み部分から上半分だけがすっぽり取れる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (価格計画で包装を記述する理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
11	116	囲み	(「版面とマージン」の説明文「版面率が高い(左)と情報量が増え」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (116ページ囲み「版面とマージン」の版面率が高い図と低い図の版面の内容が同じであり、情報量が増えるとする理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
12	119	囲み	(「書体とイメージ」の表の「ゴシック：見出し」「明朝：本文」「ポップ体：見出し」「行書体：本文」「丸ゴシック：見出し」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (書体名であるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
13	123	15	(「DTP(DeskTop Publisher)」の「Publisher」) 以下、128ページ1行目も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (表記の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
14	128	囲み	(「②キービジュアルの配置」の右図の全体) 以下、129ページの6点の図も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (127ページ囲みの右下「ラフスケッチ」の図と異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
15	131	囲み	(「コラム」の「H社のハイブリッドカー」の写真)	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真の車がハイブリッドカーであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
16	133	囲み	(「ブランド構築のプロセス」の中央の「ブランド認知」「ブランド・イメージ」「ブランド連想」「知覚品質」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (133ページ4行目から21行目の記述と構成が異なる理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
17	135	側注④	(4行目から8行目「例えば…可能性がある。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「○ズ○ー」「ジュージー○○」が「食欲がそえられる可能性がある」とする理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
18	142	21 - 23	その特許権の出願日は…先願の要件を満たしたグラハム・ベルが、電話の発明者として名を残すことになった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1876年のアメリカの特許権が先願主義であるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-29		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
19	145	3	（「商標法上の商標（ネーミング・マーク）」の「ネーミング・マーク」、英語ルビの「naming mark」） 以下、188ページ右段17行目も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 （記述の根拠が分からない。）	3-(3)	調査意見
20	145	6 - 8	商標権の目的は、企業名、商品名、サービス名を将来にわたり財産として保護することである	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （記述の内容のみが保護の対象であるかのように誤解する。）	3-(3)	調査意見
21	145	10 - 12	登録の際には使用する事業活動を記載しなければならず、商標権の効力はその事業活動と同じか類似したものに限られる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （商標の登録における「事業活動」が何か分からない。）	3-(3)	調査意見
22	148	15 - 16	ライセンス（実施許諾）契約	表記が不統一である。 （148ページ6行目「ライセンス契約（実施許諾契約）」。）	3-(4)	定意見（追加）
23	151	20	⑤ 反対意見への対処 以下、151ページ右上図の「⑤反対意見への対処」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「反対意見」が何か分からない。）	3-(3)	調査意見
24	155	16 - 19	インタラクティブ・マーケティングとは…マーケティングの現場となる。 以下、155ページ囲みの「従業員」から「顧客」に向かう矢印も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 （インタラクティブ・マーケティングの説明が不足しており理解し難い。）	3-(3)	調査意見
25	156	側注②	対象商品の購入などに対し、現金を割り戻す手法をキャッシュ・バックという。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （キャッシュ・バックが値引きであるかのように誤解する。）	3-(3)	定意見（追加）
26	157	14 - 18	（「3 アローワンス」の全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （アローワンスが金銭的セールス・プロモーションであるかのように誤解する。）	3-(3)	定意見（追加）
27	159	22	フリクエンシー 以下、159ページ23行目、30行目、189ページ左段25行目、191ページ左2段目45行目、裏見返⑤囲み「アプリでため	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （記述の表記であるかのように誤解する。）	3-(3)	調査意見
			るスタンプ」の6行目も同様。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-30		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	表見返 ⑥	囲み	(「日常で役立つユニバーサルデザイン」の写真の「ひらめき はかどり こちよさ」) 以下、44ページ囲み「④探索的調査」	特定の営利企業および商品等の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	定意見 (修正)
			の右図の「ますのすし」、70ページ囲みの左写真の右側面「0120-50-1231」、右写真「一括表示」の「製造者：ハウス食品㈱」「製造所：ハウス食品㈱」の「ハウス食品㈱」も			
			同様。			
2	7	9	食材 以下、7ページ囲み「有形財と無形財」の図の「食材」も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (レストランが顧客に「食材」を提供するかのよう に誤解する。)	3-(3)	調査意見
3	8	12 - 13	商品の開発は、商品企画書をもとに、実際に手を動かすモノづくりの作業が中心となる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見
4	11	側注	(写真の説明文の「コンビニ」) 以下、122ページ側注の写真の説明文の「コンビニ」も同様。	表記が不統一である。 (102ページ10行目から11行目「コンビニエンスストア」。)	3-(4)	調査意見
5	22	13 - 14	その理由として、新商品の開発にコストがかかっているためである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記述の理由のみであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
6	23	囲み	(「特殊なパターンの商品ライフサイクル」のグラフの全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (縦軸と横軸の説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見
7	33	4 - 6	学習ノートの開発では…極端に成績が良い人や悪い人など、一般的な顧客とは大きく異なる人びとが当てはまる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (極端に成績が良い人や悪い人が一般的ではないかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
8	38	囲み	(「商品コンセプト」の左の写真の説明文の「お母さんに嫌われないゲーム機」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-30		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
9	38	囲み	(「商品コンセプト」の右下「※( )は著者加筆」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
10	43	表	(「商品の特徴」の4行目「プラバン」, 64ページ14行目「プラ板」, 81ページ囲み「実践事例」の6行目「プラスチック板」)	表記が不統一である。	3-(4)	調査意見
11	43	表	(「商品の特徴」の右図の「全国販売のお土産」「富山特産品」)	生徒にとって理解し難い図である。 (「全国販売のお土産」が何か分からず, また, 「富山特産品」を「持ち帰りやすさ」が低いと位置付ける根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見
12	44	囲み	(「②環境分析」の右図の「県内主要宿泊施設における外国人宿泊者数」の全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の内容が整理されておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見
13	63	3 - 5	(本文, 囲み, 図の全体) 以下, 65ページ3行目から6行目の本文, 囲み, 図の全体も同様。	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (62ページまでの記述との関連。)	2-(13)	調査意見
14	68	15	商標審査を受ける必要がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (誰から受けるのかが分からない。)	3-(3)	調査意見
15	74	側注	(「近接の原則」の「×」の図, 「○」の図)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	調査意見
16	74	側注	(「整列の原則」の図の価格の「+税」の全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (消費者に対する価格表示が記述の方法で良いかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
17	75	4	プレゼンテーションソフトで作成 以下, 75ページ6行目から7行目「ここでは…説明する。」, 75ページ8行目から76ページ4行目「i. スライドの	生徒にとって理解し難い表現である。 (プレゼンテーションソフトを使う理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
			設定」「ii. グリッド線の表示」「iii. 展開図の作成」の本文, 図の全体, 76ページ12行目から77ページ4行目「i. スライドの追加」「ii. イラスト・写真などの配置」の本文, 図の全体			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-30		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
			, 77ページ「iii. 文字の配置」の図の全体, 79ページ囲み「④製図, ⑤ラフモデルの作成」の1行目から2行目「プレゼンテーションソフトを使って」も同様。				
18	77	側注	(「ゴシック体」「明朝体」「行書体」「ポップ体」の全体)	生徒にとって理解し難い表現である。(説明が無く理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
19	85	囲み	(「特許審査の流れ」の図の「拒絶審査」「特許審査」) 以下, 86ページ囲み「意匠権・商標権…流れ」の図の「拒絶審査」も同様。	不正確である。	3-(1)	調査意見	
20	86	側注	(吹き出し「各種権利の登録手続きには, 共通する審査があるんだね。」)	生徒にとって理解し難い表現である。(記述の根拠が分からない。)	3-(3)	定意見(追加)	
21	89	14 - 15	(「サイズ、形、色、書体、写真、」および「配置する際に、」の「、」)	生徒にとって理解し難い表現である。(記述の箇所のみ「、」を使用する理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	
22	92	6	(「事業企画書の作成」の「事業企画書」)	誤記である。	3-(2)	調査意見	
23	96	側注②	(3行目から4行目「純利益」)	生徒にとって理解し難い表現である。(96ページ23行目の「利益」と使い分ける理由が分からない。)	3-(3)	定意見(追加)	
24	99	側注	(吹き出し「ぜいたく品は, なぜ需要の価格弾力性が低いのだろうか?」)	生徒にとって理解し難い表現である。(99ページ17行目から20行目で「生活必需品では弾力性が小さく…ぜいたく品…では, 逆の傾向がみられる。」としており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見	
25	100	側注③	累積生産者	不正確である。	3-(1)	調査意見	
26	103	囲み	(「実践事例」の6行目から8行目「1日の利用客数…目標を設定した。」)	生徒にとって理解し難い表現である。(103ページ囲み「実践事例」の1行目で「観光客に向けた」としており「利用客」との関係が分からず, また, 「富山駅で391個, 富山空港で23個という目標を設定した」とする理由が分からない。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-30		学校 高等学校		教科 商業	種目 商品開発と流通	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
27	105	側注①	(4行目「販促」)	表記が不統一である。 (112ページ11行目「販売促進」。)	3-(4)	調査意見
28	106	10	小売業 以下、106ページ11行目、13行目、15 行目、18行目、20行目、108ページ 「POINT」の1行目、3行目、本文2行目	生徒にとって理解し難い表現である。 (104ページ側注②「小売業者」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
			, 8行目、11行目、109ページ12行目、 113ページ4行目も同様。			
29	112	15	流通業 以下、113ページ12行目、14行目も同 様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (104ページ12行目「流通業者」との違いが分からない。)	3-(3)	調査意見
30	123	2 - 3	地域を選択するうえでは、気候が温暖 で気象条件による変動が少なく	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の理由が分からない。)	3-(3)	調査意見
31	124	囲み	(「実践事例」の全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	調査意見
32	134	側注①	インターネットを通して広く公募をお こなう消費者参加型商品開発は、クラ ウドソーシングと呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (クラウドソーシングが記述の内容のみであるかの ように誤解する。)	3-(3)	定意見 (追加)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-31		学校 高等学校		教科 商業	種目 グローバル経済	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
1	表見返 ①	表題	(右上「Economics Science」)	不正確である。	3-(1)	調査意見	
2	表見返 ③	囲み	(「世界各国の日本のアニメの契約作品数」の地図の全体)	生徒が誤解するおそれのある地図である。	3-(3)	調査意見	
3	7	囲み	(右下「5」の「宅急便」) 以下、75ページ22行目「リツイート」も同様。	特定の営利企業等の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	調査意見	
4	11	側注②	(3行目から4行目「必ず設置することが定められている。」)	不正確である。	3-(1)	調査意見	
5	41	20	1950～51年 以下、41ページ22行目「1961～62年」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
6	43	囲み	(「日本のEPAとFTAの現状」の地図の「イギリス」の「2020年」)	不正確である。	3-(1)	調査意見	
7	52	囲み	(「金融システム」の図の「仲介する機関」の「保険」)	表記が不統一である。 (50ページ側注②「保険会社」。)	3-(4)	定意見 (追加)	
8	56	34	(「買収にはどのようなものがあるか調べよう」)	脱字である。 (句点が無い。)	3-(2)	調査意見	
9	60	15	(「アメリカの会社B(輸出者)」の「輸出者」)	誤記である。 (60ページ囲みの図の右上「アメリカ」の「B(輸入者)」。)	3-(2)	調査意見	
10	60	16	外国為替手形など 以下、60ページ囲みの図の左「③」の「外国為替手形」, 図の下「⑤」, 右「⑥」の「為替手形」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (違いが分からない。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-31		学校 高等学校		教科 商業	種目 グローバル経済	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
11	60	20	アメリカの銀行から日本に入金することになる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の意味が分からない。)	3-(3)	調査意見	
12	62	側注	(「固定為替相場制」の上「金」の丸囲み, 「1オンス=35ドル」の全体) 以下, 132ページ左段「固定為替相場制」の全体も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (固定為替相場制が金と固定レートとするものであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	
13	69	9 - 10	これまでのインターネットは2のように, クラウドやサーバーを経由して人が人と繋がるシステムだった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (69ページ側注の囲み「インターネット」の図に「クラウド」と「サーバー」が示されておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
14	101	囲み	(「参考」の「市場の為替レートによる…GDP比較」「購買力平価による…GDP比較」のグラフの脚注「2020年10月」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (グラフの値が2020年10月のものであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見	
15	115	囲み	(「一般会計の歳入と歳出の総額及び構成比」の「歳入」の円グラフ)	不正確である。	3-(1)	調査意見	
16	116	囲み	(「社会保障費とその内訳の推移」のグラフの「17年度」の「合計120.2兆円」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「17年度」の棒グラフに示す値の合計と一致しておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
17	116	11 - 13	国民年金に上乘せされるものとして…これら公的年金制度は 以下, 116ページ囲み「公的年金制度の仕組み」の図の全体も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (公的年金制度について誤解する。)	3-(3)	定意見 (修正)	
18	119	8	国債依存度は2010年に50%を超えた。	生徒にとって理解し難い表現である。 (119ページ囲み「国債発行額と国債依存度推移」のグラフでは, 国債依存度について2009年度に51.5%を示しており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見	
19	121	4	新型コロナウイルス	表記が不統一である。 (129ページ「実習②」の「①」「②」, 裏見返⑥32行目の「新型コロナ・ウイルス」。)	3-(4)	調査意見	
20	裏見返 ⑥	7 - 8	1974年には消費者物価指数が年率25%も上昇し	生徒にとって理解し難い表現である。 (106ページ囲み「日本の物価」の「消費者物価指数上昇率の推移」のグラフでは1972年から1975年間の最大値が25%より下を示しており相互の関係が分からない。)	3-(3)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-32		学校 高等学校		教科 商業	種目 グローバル経済	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別
	ページ	行				
1	表見返 ③	囲み	(「世界の消費税事情」の「消費税(付加価値税)の標準税率の国際比較」のグラフの「カナダ」の税率)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記述の税率のみであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
2	5	囲み	(7行目から8行目「我が国の輸出相手国としても2002(平成14)年以降, 中国が第1位となっている。」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見
3	9	1 - 3	経営に問題があった場合には経営破たんとかたが淘汰されるというしくみになっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (経営に問題があれば経営破たんをするかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
4	24	19 - 20	(「行動を予測すして」の「す」)	誤植である。	3-(2)	調査意見
5	25	囲み	(「ビール市場」の写真)	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (陳列されている商品がビールであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
6	29	16 - 20	たとえば健康診断を義務づけない保険会社があれば…情報の非対称性を克服しようとしている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「保険会社」と「加入を希望する人」の情報の非対称性が分からず理解し難い。)	3-(3)	調査意見
7	29	19	(「健康診断をおこなうなどして」の上の「②」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (対応する側注が分からない。)	3-(3)	調査意見
8	31	囲み	(「GDPとGNPの違い」の説明文の6行目から7行目「日本国籍であるため」、10行目「日本国籍ではないため」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述の根拠が分からない。)	3-(3)	調査意見
9	34	15	(「支出面のGDP」の計算式の右辺の「輸入」の側注番号「④」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (側注番号が「輸入」に対して付されたものであるかのように誤解する。)	3-(3)	調査意見
10	38	側注②	(側注番号の「②」)	誤記である。	3-(2)	調査意見

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-32		学校 高等学校		教科 商業	種目 グローバル経済	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	種別	
	ページ	行					
11	39	囲み	(「T社とF社にみられる繊維産業の位置づけの変化」の2行目から4行目「しかし、T社とF社の取り組みは…変化した事例である。」、左下のT社の工場の写真の説明文の全体)	生徒にとって理解し難い表現である。(T社とF社の説明と相互の関係が整理されておらず理解し難い。)	3-(3)	調査意見	
12	45	側注①	(2行目「1.8%」)	不正確である。	3-(1)	調査意見	
13	50	13 - 15	資源配分機能とは、ヒトやモノ、カネや情報など限りがある経営資源を企業や家計、そして政府自身に振り分けることである。	生徒にとって理解し難い表現である。(財政との関係が分からない。)	3-(3)	調査意見	
14	53	22	(「超高齢社会」の側注番号「①」) 以下、53ページ22行目横の側注の「①総人口において」の「①」も同様。)	誤記である。	3-(2)	調査意見	
15	63	9 - 10	信用金庫の定期預金はM3には含まれるが、M2には含まれない。	不正確である。	3-(1)	調査意見	
16	63	囲み	(「考えてみよう」の「マネタリーベース、マネーストック、信用乗数の推移」のグラフの左縦軸「億円」、右縦軸の目盛りの値)	不正確である。	3-(1)	調査意見	
17	75	側注②	(グラフの全体)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	調査意見	
18	103	21	個人情報の第三国への移転は原則として禁止されている。	生徒にとって理解し難い表現である。(EUにおける第三国の位置付けが分からない。)	3-(3)	調査意見	
19	110	側注	(下写真「CUP NOODLES」)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	調査意見	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-42		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	25	3	クライアント（デスクトップ型）2台 25ページ中図 ネットワークの構成 クライアントのイラスト 28ページ中図 周辺装置を追加したネットワーク構成図	相互に矛盾している。 (クライアントはノート型を使用している。)	3-(1)	
			クライアントのイラスト			
2	31	右下	豆知識 図 ホスト部 中図 ホストアドレス部	表記が不統一である。	3-(4)	
3	39	3	[Windowsの設定]	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Windows)	2-(7)	
4	46	中下表	共有フォルダの作成場所 D:¥ 47ページ右中図 ネットワークパス(N): ¥¥Sports-sv¥営業共有	生徒にとって理解し難い表現である。 (D:¥とネットワークパスとの関係が理解し難い。)	3-(3)	
5	46	17	「サーバの役割の選択」 15行 「サーバーの役割の選択」	表記が不統一である。	3-(4)	
6	49	上図	Active Directory (2か所) 中図 (3か所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	51	右上図	BitLocker	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	55	13	ロックアウト	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
9	70	3	フィルタ 71ページ側注① フィルター	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 103-42		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	75	3 - 4	下図は、行ラベルに日付を追加し、（曜日一日付）に設定したものである。 以下、上中図	生徒にとって理解し難い表現と図である。 （説明と図の関係が理解し難い。）	3-(3)	
11	103	13	「=ROUNDDOWN(…, 10)」 側注① ROUNDDOWN関数を利用して、小数点以下を切り捨てて表示する。	相互に矛盾している。	3-(1)	
12	107	8	セル (G2) :=IF (D1=0, … MATCH (D1, …	不正確である。 （「D1」）	3-(1)	
13	119	中上図	ActiveX VBA	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	131	右中上 図	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （本文10～16行の「2 クエリ（仮想表）」との関連が理解し難い。）	3-(3)	
15	156	下図左	右枠 商品コード, 商品名, 販売単価, 商品コード 左枠 商品コード	相互に矛盾している。	3-(1)	
			商品名 販売単価 分類コード			
16	171	側注	補足 キーワード	生徒にとって理解し難い表現である。 （キーワードについて説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
17	192	側注①	「フリーウェイ販売管理」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
18	200	側注①	「フリーウェイ給与計算」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-42		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	232	11	Case Is>=20	生徒にとって理解し難い表現である。 (Isについて説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
20	235	右図	流れ図例 ループ始端 ループ iを1から1ずつ増やして	不正確である。 (iの増やし方)	3-(1)	
			5になるまで   i + 1 → i ループ終端			
21	240	側注	補足 Withステートメントを使用しないと、以下のような記述となり、オブジェクト名が冗長となる。	不正確である。 (オブジェクト名が冗長)	3-(1)	
22	262	下図	業務支援システムメニュー 商品別売上金額分析 顧客別売上情報分析 265ページ上中図 業務支援システムメニュー	相互に矛盾している。	3-(1)	
			売上分析 商品別売上金額分析 顧客別売上情報分析			
23	285	中左段下	外れ値……76	不正確である。 (76ページにない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-43		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9	上囲み	⑤C29に～と入力し、C40までコピーして (以下 右図⑤の赤囲み)	相互に矛盾している。 (囲む範囲)	3-(1)	
2	9	左上囲み	⑤C29に「-18.287*B29+2508」と入力し	脱字である。	3-(2)	
3	27	中囲み	表「アイスの販売数予測」 グラフ「アイスの売上数と平均気温」	相互に矛盾している。 (点の個数)	3-(1)	
4	30	31	連立方程式 (以下 31ページ2行)	誤りである。 (方程式ではない。)	3-(1)	
5	31	1 - 3	$200x+60y<=4, 200-x+3y<=48$ ↓連立方程式を解く $x<=18 y<=10$	誤りである。 (解は、このような長方形の範囲にはならない。)	3-(1)	
6	31	19	$350x+21+380x=7,980$	誤りである。 (「7,980」)	3-(1)	
7	79		図表2-2-17 第2正規形 コース料理テーブル (以下 80ページ図表2-2-19 第3正規形 コース料理テーブル)	誤りである。 (正規形ではない。)	3-(1)	
8	110	6	来客日 (2か所) (以下 下図 来店日)	表記が不統一である。	3-(4)	
9	121	上囲み	⑥「お弁当データ入力フォーム起動マクロ」 (以下 122ページ右中図 ④お弁当データ入力フォーム起動マクロ)	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-43		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			121ページ27-28行 お弁当データ入力起動マクロ 122ページ左 ④[お弁当データ入力起動マクロ])			
10	129	17	アルゴリズムには必ず「開始」と「終了」があり、 (以下 図表3-1-1 端子 アルゴリズムの開始や終了をあらわす。	表記が不統一である。	3-(4)	
			130ページ中図 入口 出口)			
11	129		図表3-1-2 繰り返し構造 ループ 終了条件 (以下 141ページ ループ iは…i<=7の間)	相互に矛盾している。	3-(1)	
12	131	中囲み	MsgBox(… Kei & “です”) (以下 136ページ図3-1-12 MsgBox(… Kei & “円です”))	相互に矛盾している。	3-(1)	
13	148	13	セル名.Value = 変数 (以下 19行 セル名.Interior.Color = 定数)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「セル名」が指すものについて誤解する。)	3-(3)	
14	150		図表3-1-16 列は2から1ずつ増やしてRetu<=4の間 (以下 151ページ流れ図)	誤りである。 (「列」)	3-(1)	
15	150		図表3-1-16 ループ 2 セル(Gyo, 2) ≠ “”の間	誤りである。 (「(Gyo, 2)」)	3-(1)	
16	151	中右	②列(Retu)は1からはじめて1ずつ増やして、	誤りである。 (「1からはじめて」)	3-(1)	
17	156	図中左	TextBox1~3 → “”	誤りである。 (代入)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-43		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
18	170		図表3-1-24 予約データ修正フォームの「修正」ボタン → 予約一覧表 (以下 180ページ中図 予約データ修正フォームの「修正」ボ	相互に矛盾している。	3-(1)	
			タン → 該当する予約番号のデータが修正され、メインメニューに戻る)			
19	179	側注	Format関数 hh:mmとすると時:分のように表示する (以下 プログラム Format(～, "hh:nn")	表記が不統一である。	3-(4)	
20	186	31	④来店日入力フォームに予約日を入力し、 (以下 中図 ラベル [来店日])	表記が不統一である。	3-(4)	
21	186	31	④[作成]ボタンをクリックすると、 (以下 中図 [表示] ボタン)	表記が不統一である。	3-(4)	
22	187		図表3-1-37 コマンドボックス オブジェクト名:表示ボタン コマンドボックス オブジェクト名:メニューへボタン	誤りである。 (「コマンドボックス」, 「表示ボタン」, 「メニューへボタン」)	3-(1)	
23	187	20	… + SUMIFS(\$I\$6:\$I\$15, …)	誤りである。 (「\$I\$6:\$I\$15」)	3-(1)	
24	189	図中	(2)…人数の合計を出力するために受付表のセル(UGyo, 6)とセル(UGyo, 8)を合計する。 (以下 流れ図 受付表のセル(UGyo, 6) + 受付表のセ	誤りである。 (「受付表」 「UGyo」)	3-(1)	
			ル(UGyo, 8) → …)			
25	190	上中囲み	シート名「受付表」を来店日の昇順、来店時刻の昇順にソート … Key1:=Sheets("受付表").Range("C4"), _	誤りである。 (「C5」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-43		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			Key2:=Sheets("受付表").Range("C5"), _			
26	195		図表3-2-6 主キー フィールド名 … ○ 予約ID … コースID …	不正確である。 (主キーは予約IDだけではない。)	3-(1)	
27	209	10	[予約データ入力起動]を選択し、 (以下 右図2番目 実行するマクロとして[予約データ入力起動]を選択)	不正確である。 (209ページ2-3行「「予約データ修正起動」マクロを登録する。」に照らして)	3-(1)	
28	218	2 - 4	①次のなかから変数名として適切なものをすべて答えなさい。 ア. travel … コ. End	生徒にとって理解し難い表現である。 (第3章の中でも複数のソフトウェアを扱っているのに、何のソフトウェアでの話が指定していない。)	3-(3)	
29	262	26	規定値のまま変更しない。 (以下 264ページ3行 規定値から変更しない。 264ページ23行 既定のまま変更しない。)	表記が不統一である。	3-(4)	
30	278		図表5-1-10 無線LANアダプタの例	誤りである。 (「無線LANアダプタ」)	3-(1)	
31	280	10 - 11	クライアントサーバ型LANを構築するためには、ネットワークを管理するためのNOSを用意する必要がある。 (以下 側注2 ネットワーク管理に特化したOSであり	生徒にとって理解し難い表現である。 (NOSの説明)	3-(3)	
			, サーバ専用機に付属していることも多い。)			
32	288	27	フォールトトレランス	誤記である。	3-(2)	
33	296	19	暗号化鍵と復号鍵 (以下 図表5-2-5 公開鍵, 秘密鍵)	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 103-43		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
34	298	4	最後は差分バックアップであり、 (以下 297ページ31行 もう1つは、差分バックアップで、)	誤りである。 (「差分バックアップ」が重複。)	3-(1)	
35	298		図表5-2-7 増分バックアップ 前回のフルバックアップ以降に変更 されたデータのみを記録する	誤りである。 (「前回のフルバックアップ」)	3-(1)	
36	305	右	有為抽出法 (以下 21ページ 有意抽出法)	表記が不統一である。	3-(4)	
37	裏見返 4	中図	副問い合わせ (EXIST句) (以下 右列 WHERE EXIST (副問い合わせ))	脱字である。 (「EXIST」)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。